

2030赤穂市総合計画の見直しに係る
市民ワークショップ
結果報告書

令和7年3月

赤穂市

1 テーマ

赤穂市を今よりも住みよいまちにするために

～増やしたいもの、減らしたいもの、変わらないでほしいもの～

2 実施日時・参加人数

第1回	9月5日（木）午後7時～午後9時	23人
第2回	9月14日（土）午前10時～正午	22人
第3回	9月28日（土）午前10時～正午	18人

3 意見の概要と考察

総合計画の4つの柱である「安心」「快適」「元気」「人」の体系ごとに、今の赤穂市の取り組みや現状について「増やしたいもの」「減らしたいもの」という切り口で、ワークショップの参加者から意見を出し合っていた。

参加者からの意見は、4ページから19ページには総合計画の4つの柱ごとに分けて記載し、20ページ及び21ページには転入者を増やすためにやるべきことを、22ページ及び23ページには出生数を増やすためにやるべきことを記載している。

参加者からの意見を踏まえ、施策分野ごとに次のとおり考察した。

① 関心が高い「子育て支援」「高齢者施策」「防災」

まず、「子育て支援」については、「子どもの人口を増やしたい」という率直な意見をはじめ、保育所、アフタースクール、病児保育の子どもの預かり枠や、託児所といった現状の子供の保育に関する施策の量的な拡充を望む意見が多く出された。また、高校生までの医療費の無償化や給食費の無償化といった、経済面で子育て世帯を応援する施策を望む意見が出された。

その他、子ども食堂や、子どもが遊べる場を増やすといった意見や、子育てに悩んでいる家庭の負担軽減など、子育てのソフト面での取り組みを求める意見も出された。

子育て支援については、現行施策の量的な拡充に加え、ソフト面などの質の向上が求められており、こうした点を今後の施策に取り込んでいく必要がある。

3回のワークショップでは、いずれの回においても子育て支援に関する意見が活発に出されており、人口減少の大きな原因の1つである「少子化」にどう取り組んでいけ

ばいいのかということについての市民の関心とニーズの高さ、子どもの数の減少に対する危機感が表れているものと思われる。そのため、今後さらなる充実が求められる。

「高齢者施策」については、従来からの買い物支援や医療だけでなく、健康な高齢者を増やすこと、高齢者の活躍の場とやりがいを増やしていくといった意見が出されており、高齢者が生きがいを持って健康に過ごすことのできる施策が求められる。

「防災」については、近年、地震や大雨など過去に例を見ない激甚災害が各地で発生しており、地震が発生した場合の予測や情報を普段から市民に周知することや、避難訓練の回数を増やすこと、地震対策として自治会活動を活発化する意見など、災害に対する普段からの備えが大事だということが改めて確認された。

② 日常生活の中で実感する意見「ごみ」「耕作放棄地」「空き家」「公共交通」

日常生活の中で実感する意見として、不法投棄や食品ロス、ごみの減量化といった、生活環境の保全を求める意見が出された。特にごみの減量化については、処理施設の更新という課題を抱える中で、市民の理解と協力を得ながら更なる減量化に取り組んでいく必要がある。

次に、耕作放棄地や害獣、空き家、公共交通といった人口減少に伴う課題が指摘された。

これらの課題については、これまでも様々な施策を講じてきているところであるが、すぐに大きな成果が得られるような課題ではないため、継続した取り組みが求められる。

③ まちの活力への期待「企業誘致」「観光振興」

「企業誘致」については、若者の働く場を増やしたいという意見、在京の赤穂出身者などを通じて思い切った企業誘致を望む意見が出された。企業誘致は相手方のニーズをどう満たしていくのか、どうやって赤穂市を選んでもらうのかという非常に難しい課題であるが、引き続き様々なチャンネルを活用し、成果に結び付けるよう努力を続けていく必要がある。

次に、「観光振興」については、義士のまちや特産物の力キなどの赤穂の魅力をさらに発信していくことによって、インバウンド向けも含め、観光客を増やしていくことが必要であるとの意見が出された。SNSをはじめ、効果的なPRの仕方をさらに考えていく必要がある。また、義士と塩だけに頼らないようにとの意見もあり、新たな観光資源の発掘や地域資源を活用していく取り組みが求められている。

④ 人が集い、ふれあう「場」をつくる

イベントなどを通じて、若者や高齢者、まちおこしによる市外からの参加者など、多くの人が集える、ふれあうことができる「場」を求める意見が出された。新型コロナウイルス感染症により人が集うことができなかったこの数年間の市民の思いが背景にあるのではないかと考える。

⑤ 持続可能な行財政運営をめざす

今後の市政について、ハコモノや不要な市有地を減らすこと、具体的なテーマや目標を掲げて「実行する行政」を望む意見など、持続可能な行財政運営への積極的な取り組みを期待する意見も出された。

限られた財源と人的資源を「選択と集中」によって、いかに効率的に活用していくのかが行政には求められる。

※当該ワークショップは、住民のニーズを把握する手段の一つとして実施したのもであり、出された意見は市民からの要望として取扱うものではありません。

市民ワークショップで出た意見（一覧）

総合計画の柱	【安心】誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり						
	【増やしたいもの】						
防災・減災・消防	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
・防潮堤の嵩上げ ・防潮堤のゲートの操作を近くの市民に委託させる ・避難訓練を月に1回は実施する ・地震のシミュレーションの結果の情報を市民に知らせること ・山火事・海・川特別レスキューチーム ・防犯カメラ ・避難訓練の実	・地域の集いの場 ・市民の声を集めるワークショップなどの場を増やす ・市民の交流の場 ・ゴミ出し家の前に取りに来る ・コミュニティスペース(子どもからお年寄り)相談できる場 ・ごみのリサイクル ・お寺の活用法(集いの場)	・保育士の資格がなくても保育ができる制度 ・病児保育の預かり枠(人数) ・皮膚科 ・発達障がいがある子どもの支援をする場所 ・託児所 ・赤穂市の医療協力 ・城西公民館裏子ども遊び場 ・障がい者の買物支援 ・障がい者A型、B型就労支援幅を広げる ・小児夜間医療 ・就労支援A型、B型→高齢者の活躍 ・市民病院の売店 ・市民病院の診察時間	・御崎の桜 ・マリンアクティビティの充実 ・農家 ・動物とふれあえる場所 ・企業 ・観光客 ・お試し住宅		・保育園、子ども園 ・中学校の部活動 ・アフタースクール ・赤穂城の天守閣	・バスの本数 ・バスの乗りやすいルート ・転入者 ・電車の本数 ・デマンドタクシーの他地域運航 ・デジタル関係をサポートしてくれるような機関を増やす ・タクシー・バスのネット予約、支払い ・税収 ・人口 ・循環バスの利便性 ・コミュニティバス	・若年ボランティア ・40～50代の地域の担い手 ・コグニサイズ導入 ・信号機

施回数 ・南海トラフ地震に備えるべく自治体活動をプッシュする ・津波対策 ・地域のマクロ的セルフレスキューシステム ・シルバー世代や障がい者、子どもの安全安心の Iot の導入 ・街灯 ・1人、1匹も取り残さない強靱な備え	・E スタンド(電気自動車) ・祭り	・子育てで悩んでいる家庭に対し、具体的な事例を交えつつ、ケンカを減らす解決策を広報に載せるなどして子育ての苦労を軽減させる ・子ども預かりの枠(人数) ・子ども食堂 ・子どもの遊ぶ施設(室内) 夏・冬問わず遊べる ・子どもの人口 ・産婦人科(産む場所) ・高齢者の方の憩いの場(コミュニケーションがとれる) →健康につながる ・高齢者の買物支援 ・高齢者の住む場と医療。学校や市役所、スーパーなどの統合住宅 ・高齢者の居場所 ・高齢者の活躍の場 ・高齢者のやりがい ・高齢者にスポーツジムに行ってもらい生涯健康になってもらう。 ・高齢者が出向かなくても待				・公共交通	
---	-----------------------	---	--	--	--	-------	--

		ち時間がない医療サービス ・ 高校生まで医療費無料 ・ 元気な高齢者 ・ 医療連携(個人病院から総合病院まで) ・ 民生委員 ・ ヘルプカード他色々の認識化 ・ フードバンク ・ 障がい者用第2次産業 ・ 産婦人科 ・ 子ども食堂 ・ 子育ての手当(給食費無料 ・ 介護タクシー					
--	--	--	--	--	--	--	--

総合計画の柱	【安心】誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり 『減らしたいもの』						
	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
・ 警察が外から来る車の取締りポイントの前に、地元のルール、安全を提示するサイン活動	・ 公営住宅 ・ 山中のごみの不法投棄 ・ 各スーパーでのごみ ・ 食品ロス	・ 段差 ・ 病人	・ 耕作放棄地 ・ 害獣 ・ 農業者の高齢化 ・ 税金を田畑を売って支払うこと ・ 農家の方の負担 ・ 使っていない畑 ・ 駅前の家賃の高い土地	・ 廃屋 ・ 空き家 ・ 新たな宅地開発 ・ 歩道脇に植わっているさつきを植える必要がない。木も3～4m 迄の木にする。毎年造園業者に委託して費用が大変。剪定のやり方もめっちゃ。見通しの悪い樹木を低い樹木またはガードレールに	・ 小学校 ・ 不登校の子ども ・ PTA 活動に参加の人	・ 市内循環バス ・ ハコモノ ・ 転出者 ・ 無駄な支出 ・ 税金の無駄遣いを減らし、お金を活かす ・ 無駄な人員（人件費） ・ 赤字 ・ 市役所職員 ・ 議員数 ・ 市会議員	・ 空き地 ・ 家賃 ・ 共同アンテナの料金

総合計画の柱	【安心】誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり 《変わらないでほしいもの》						
	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
・ 犯罪発生件数	・ 自然 ・ 地域のお祭りコミュニティ ・ 祭り ・ 自然	・ 介護の制度 ・ 総合病院の数 ・ 介護の必要人(高齢者)	・ 赤穂みかん	・ 湾沿いの低層が作る景観 ・ 水道料金	・ 教育 ・ 古い街並み ・ 学校の数 ・ 登校拒否児童 ・ 歴史あるまち並み	・ 赤穂線(交通)バス	・ 趣ある古民家

総合計画の柱	【快適】自然環境と都市環境とが調和した住みやすいまちづくり						
	【増やしたいもの】						
防災・減災・消防	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
	・ 川をよみがえらせる ・ 千種川への市民の自然循環のふれあい	・ 坂越の高齢者へのヘルプ(食事・交通)	・ 地産地消の場 ・ 展望台の清潔さ ・ 坂越一御崎ビュー ・ 雄鷹台山の登山者数 ・ 海浜公園の利用率 ・ 害獣対策(柵の再整備) ・ 市が貸し出す農地を増やし、一般人への農業の指導も増やす ・ ふれあいの森再整備 ・ 坂越の駐車場 ・ マリンアクティビティの充実	・ 街路樹の整備 ・ 空き地・空き家の再利用 ・ 宅地開発規制 ・ 千種川整備	・ 住民が赤穂市を誇らしく思えるように世界の偉人「山鹿素行」をもっと大々的に打ち出す ・ 自然や環境を課外学習などで利用	・ 循環バスの本数	

総合計画の柱	【快適】自然環境と都市環境とが調和した住みやすいまちづくり 『減らしたいもの』						
	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
防災・減災・消防	・ 地区によるごみ箱の量の差 ・ ゴミ箱内鍵？ ← 高齢者出せない ・ 海岸のごみ		・ 海浜公園の東側の漁業組合の関係の施設をどこかずっと西の方にでも移ってもらう。 ・ 海浜公園のパーキング代の無料化	・ 整備されていない公園 ・ 育ち過ぎた街路樹 ・ 倒れかけの空き家 ・ 歩道脇に植わっているさつきを植える必要がない。木も 3～4m 迄の木にする。毎年造園業者に委託して費用が大変。	・ 公民館・体育館（人口からすると多すぎる）	・ 市の所有している土地の荒廃 ・ 使えないバス(利用者少ない)	

総合計画の柱	【快適】自然環境と都市環境とが調和した住みやすいまちづくり 《変わらないでほしいもの》						
	地域・コミュニティ・ ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
	・海・山・川の自然			・公園の数(但し整備の体制は?) ・宅地の数			・ボラの飛び跳ね

総合計画の柱	【元気】産業と地域資源を活かした魅力あふれるまちづくり						
	【増やしたいもの】						
防災・減災・消防	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
・ 防災道の駅(建設による雇用創出)	・ 美しいまちを築く(ごみを無くす)		・ おみやげ ・ お城通りをアウトレットに(一例) ・ カキ養殖で出る海洋ゴミを海にダメージがないシステムにするサポート ・ みかん山の活用・活性化 ・ リモートワークの推進(場所・設備) ・ 海、陸も含めて未来に育む漁 ・ 海外インバウンドに向け、HPの作成、SNS 発信 ・ 環境を育てる地域産業を創生 ・ 観光客 ・ 観光名所がそれぞれバラバラなのでそれを繋げる移動手段 ・ 企業誘致 ・ 義士隊(観光客向け) ・ 義士発祥のまちの活用 ・ 空き家の活用 ・ 個人の負担を少なく仕事する ・ 御崎～坂越の桜並木	・ サイクリスト、バイク用ロードの整備	・ 赤穂緞通に触れられる場所(田淵家の活用)	・ 播備としてどうするか相互の市民交流	・ レンタカー・軽トラ・ワンボックス等

			・市の公園を栄養して地産地消を促す。 ・若者が働ける会社 ・赤穂東京会などを通じて思い切った企業誘致を行う ・他市からも人が来るような観光場所 ・大避神社やお城を中心とした観光コース ・第 6 次産業 ・地域の産物を売買する機会 ・中古車販売店・移住者向けサポート				
--	--	--	---	--	--	--	--

総合計画の柱	【元気】産業と地域資源を活かした魅力あふれるまちづくり 『減らしたいもの』						
	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
			・観光事業についての事務局の整理、統合 ・赤穂浪士と塩への依存			・遠くの友好都市なんて不要、近くとの連携	

総合計画の柱	【元気】産業と地域資源を活かした魅力あふれるまちづくり 《変わらないでほしいもの》						
	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
			・ 赤穂御崎の桜		・ トライやるウィーク（中学生の就労体験）		

総合計画の柱		【人】歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり 【増やしたいもの】					
防災・減災・消防	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
	・ ペットボトルゴミ回収 ・ 海の水質評価(B) ・ 市と民間の意見支援交流会 ・ 市民のタベ ・ 自然を大切に する、千種川 ・ 色んな年齢の 人がふれあえ る場所 ・ 段ボールゴミ 回収回数 ・ 様々なサークル活動のポータルサイト	・ フードバンク ・ 見守りを兼ねた 高齢者への訪問 ・ 高齢者やいろいろな立場の人が 集う場所、居場所 ・ 市民病院の産婦人科 ・ 心身健全のための 老人会等の活 発化 ・ 地域サロン(みまもり) ・ 病院に行くよりも日々、自分で 健康体にするための公園、施設、 プログラムをつくり、医療費負担を 少なくする	・ イベント会場 ・ 移住に関して 県との連携、市の対応 ・ 義士発祥のま ちの活用 ・ 山歩き、まちあ るき ・ 市主催の色々なイベント ・ 市場(公共) ・ 特産品(名産品) ・ 文化を高める (万博の活用) ・ 魅力発信(天気がいい、義士祭、カキ)		・ 「義士」の歴史教育活用→山鹿素行 ・ アフタースクールの充実 ・ まちおこしスポーツイベント ・ 延長保育や学童の利用レポ、環境 ・ 海外、国内から学びたいと思われ る教育プログラム ・ 義士教育の充実 ・ 互いに助け合う愛の輪を歌う広 げる(PTA) ・ 最も生活(lifetime)に必要なお 金、健康、芸術、介護などを幼稚園 から教えるプログラム ・ 山鹿素行他重要人物の教育 ・ 獅子舞イベント ・ 図書館の数 ・ 正しい歴史教育(義士教育) ・ 生涯学習の機会 ・ 赤穂義士の屋敷群の紹介 ・ 赤穂市の文化、山鹿素行学 ・ 戦前の日本について調べ、勉強 し、今に活かす。	・ メタバースの活用 ・ ルボン音楽祭に市民が学べる アーティストとのプログラム、 トーク ・ ワークショップの活用(市政) ・ 外部専門家との連携の仕組み ・ 議員の活動を全て広報に載せて、 何を提案して何ができたかを はっきりさせる ・ 公務員の役割復活 ・ 子どもの数 ・ 市外への情報発信(特徴の言語化) ・ 市内、大学、専門学校との 連携(生涯学習) ・ 市民がわかる情報公開 ・ 市役所職員がリラックスできる コミュニケーションルームをつくる。	

				・ 素行学、土道学 ・ 他国、他地域からぜひ来てみたいと思うスポーツ、芸術プログラム ・ 忠臣蔵の本当の史実 ・ 伝統文化 ・ 伝統文化を伝えるような取組み（市の HP に無形文化財が載っていない） ・ 米国追随ではない教育の推進 ・ 保育所・アフタースクール ・ 歴史を大切にする。	・ 生まれも育ちも赤穂の人がもっと参加できる取組 ・ 生産世代 ・ 地元学生への無料化 ・ 納税者（子育て世帯を増やす） ・ 曖昧ではなく、具体的なテーマを出して実行できる行政	
--	--	--	--	---	--	--

総合計画の柱	【人】歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり 『減らしたいもの』						
	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
	・ 不法投棄のごみの量		・ 個人の負担を少なく仕事する		・ 生徒への教育より先生への教育 ・ GHQ 以降の教育から日本、赤穂の元にあったものにする。	・ 市民病院の赤字 ・ ルポン音楽祭 ・ 市職員の部長クラス ・ クラシック偏重の是正 ・ 市役所(行政)の業務を減らす	・ 市会議員数

総合計画の柱	【人】歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり 《変わらないでほしいもの》						
	地域・コミュニティ・ごみ・環境	福祉・医療	農林水産・商工・観光	建設・水道	教育	公共交通・行財政	その他
				・ 水道料金の安さ	・ 寺社仏閣 ・ 幼稚園・保育園の数 ・ 市民会館で開催される講座	・ LINE の情報提供	・ 古民家

転入者を増やすためにやるべきこと						
子育て	企業・働き方	医療	コミュニティ	都市基盤・施設	情報発信	その他
・給食費無料化 ・学費の無料化 ・遊べる場所を増やす ・子育て世代の税負担軽減 ・子どもが学校に通いやすい方法、大人であればどこかに行きやすい方法 ・資格がなくても保育をできるように、小学生限定保育など ・実家が赤穂にあることが前提で行事・イベントがある。それに対する対策 ・少子化対策をやめて、今いる若い世代に、子どもたちをサポートし、	・育児のための長期の休み、両親で1年 ・企業誘致 ・働き方の研修 ・就職先の確保 ・働く者に対して優しい職場 ・リモートワーク推進地施設を作る ・育児のために家でオンラインの仕事ができる会社をサポートして増やす ・魅力的な企業を増やす ・転勤での転入・その後の定着 ・法人税の無償・減免 ・会社や工場の設立 ・女性の働く場所	・福祉・医療・育児のサポートを ・病院の数のアピール ・産婦人科を増やす	・町に誇りを持てるようにする ・月1回のペースで政治のやる気がある人を集めて行政の課題を教え、問題解決に協力してもらう。 ・近所付き合いを増やす策を ・同じ移住者と話す機会を増やす	・空き家を市外にアピールしていく ・買い物拠点は十分 ・商業エリアを選定し、重点的に投資する ・食の豊かさをアピール・市場(道の駅)を作る ・ショッピングモールの建設 ・姫路駅周辺の開発を真似する ・別荘地をつくり、特別な空間を提供する ・室内で体が動かせる場所を作る ・食事ができるところが多いが、それ以外の施設を考えてみる ・他市と交流しやすいように交通基盤を整える ・誰もが知っている施	・移住した後を想像しやすくするためにメリットとデメリットを具体的に発信する ・インスタ発信者を増やす ・魅力を絞って発信する ・高齢者が住みやすいことをアピールする ・赤穂の歴史を発信する(義士、山鹿素行) ・市民憲章の活用全国大会を 2031 年に ・自然の良さを活かす ・赤穂の魅力を発信する ・近畿圏・首都圏での宣伝活動 ・コンパクトシティの訴求(いつまでも赤穂浪士に頼らない) ・イベント開催	・福祉大があるから赤穂に来た ・赤穂高校の学生を増やす ・関わる若者を増やす ・市民の声をちゃんと聞く ・ラウドマイノリティではなく、サイレントマジョリティの声を集める ・フェス開催 ・赤穂市のプロスポーツチームを作る ・JRの本数を増やす ・キャラの強い市長を ・南海トラフ地震対策を種に活性化を図る ・市役所を明るくする ・赤穂市民のための特典を作る(例えば子育て支援) ・被災者を呼び込んで支援 ・防災力の優れた街であることをアピール(災害があると人は来ない) ・若者を呼び込む「スケボー、BMX の街等

質の高い暮らしをさせる ・新築助成 ・生産世代への手厚い施策 ・UI ターンを増やす(市の給付形・奨学金) ・アフタースクールの充実 ・子育て支援の充実	を増やす ・企業にも転勤者で家族単位優先依頼 ・企業を増やす			設を作る ・カラオケ・ボーリング場・遊園地 ・店を増やす ・空き家物件所有者からの召上げ策 ・お城通りをアウトレットに ・街並の保存 ・人が集まる施設を創り出す ・メタバースの活用 ・買い物する場所を増やす ・道路が狭い	・赤穂の良さ(気候・歩いて行ける、安全等)を広く日本中に知らせる努力 ・情報発信(良いことの) ・市長のメディア進出 ・ネットにバナー広告 ・SNS 等による積極的アピール ・リタイア後の定住地としてアピール ・住みやすさをアピールする(コンパクト、水道料金の安さ、駐車場料金無料、平坦な街)	・赤穂の良い所(気候が温暖) ・赤穂駅の階段の所にある義士の絵を人間、実名を使い、絵はもっとふさわしい絵にする ・赤穂義士の生きざまを理解させる ・義士資料館を良く知ってもらう ・男性が料理をできる教育 ・天災に強いまちの訴求 ・アクティブな市民をもっと活用することを考える
---	--------------------------------------	--	--	---	--	---

出生数を増やすためにやるべきこと		
若年女性を増やす	もう一人出産してもらう	カップルを増やす
・ 女子が住みたい町と思えるようにアンケートを取る。都市部の取組を参考にする。 ・ 職場に託児サービス ・ お母さんが子どもの様子を見られる環境がある職場を作る ・ 働く場にフレックスタイム制度を設ける(心・体に余裕を持てる制度) ・ オンラインでのホームスクールプログラム ・ 家事代行 ・ 子育てへの補助 ・ 子ども預かり充実 ・ おむつ代・ミルク代支援 ・ いつでも保育所に預けられる ・ 子どもの教育の充実 ・ 子育てのサポート ・ 学校の授業に応じた習い事の充実 ・ 子どもの病気の相談窓口 ・ 保育費支援 ・ 小児科の充実 ・ 夜間救急対応 ・ 明るい家庭を作 ・ 子育て環境 ・ 希望した保育所に預けられる ・ 早期預かりを増やす	・ 乳幼児を優良で面倒を見てくれ、家事もしてくれるサービス ・ 出産後の育児手当を充実させる ・ 子育て費用の無償化 ・ 出産費用の無償化 ・ 待機児童 0 化 ・ 子どもたちが楽しく学べる場所の確保 ・ 子育て施設整備(送迎車) ・ 子ども見守り(高齢者活用) ・ 見てくれる場所・見てくれる人が必要 ・ 子どもがいる人に対して、仕事時間の短縮 ・ 仕事場で子どもを見てくれる ・ 出かけた先での子どもを見てくれる人・場所 ・ 子ども一人につき月々もらえる助成金の改正(3人目～はあるけど) ・ 出産祝い金を数万ではなく百万ほどとする ・ さくら園を増やす ・ 保育園・託児所のさらなる充実 ・ 赤ちゃんポストを設置する ・ 子育て世代への住宅支援 ・ 働く場所 ・ 出生に対する補助金増額 ・ 若者の賃金を上げる ・ 学費の補助(特に大学生に対し)	・ 低予算でも婚活できる仕組み。忙しい人でも少ない時間で出来たらいい ・ 選択的別姓推進 ・ 結婚した後の夫婦関係の悩みをなくすために夫婦が守るべきマナー、ふるまい方を学ぶ講座を開く ・ 男の悩み・女の悩みを学ぶ ・ 若いカップルの収入源を増やす ・ 若い人たちの出会いの場を作る ・ 自然の中で遊びながら出会いの機会をサポート ・ イベント ・ 出会いの場を増や ・ 企業同士のコミュニケーション増 ・ 商工会議所とも協力依頼 ・ 赤穂周辺地域を含めた婚活イベント(中高生含む) ・ 「性」に対しての学習時間を設ける ・ 男女が会えるイベントを増やす ・ 市主導マッチングの場 ・ 市内イベント開催で出会いの場を提供 ・ 若人の起業支援

・若い女性の付きたい仕事を増やす ・若年の人たちがにぎやかに騒げる施設を作る ・産婦人科医を増やす ・バツイチ優遇策 ・未婚の母優遇策 ・イベント開催 ・収入増加・税を減らす ・出産費用補助 ・イベント開催 ・整備された幼児向け公園 ・働かず子育てする母への子育て費の給付 ・SNS 等による市の子育てアピール ・若い女性が余裕をもって助ける職場の確保 ・マタニティ支援 ・働いている職場環境の整備 ・親へのサポート充実(赤穂駅までの子どもの送迎バス) ・育児施設の整備(保育園・幼稚園) ・親の時間的負担を減らす(子ども会食堂を毎日) ・幼少児の見守り充実(学校のアフタースクールのようなもの) ・子どもを産む数が増えるほど手助けを増やす ・子育て相談窓口→若い人による巡回 ・産婦人科・小児科	・子どもの医療費無償化 ・育児世代用フリマ ・育児用品助成金	
---	--	--